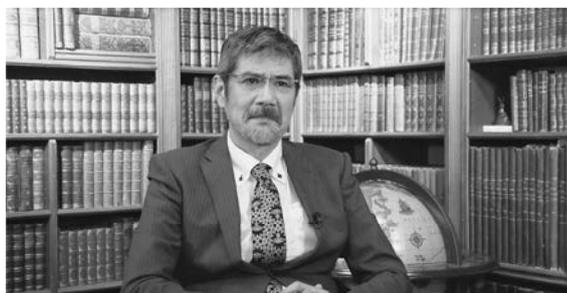


『今、薬物問題を考えよう！～私たちの未来のために～』

(2020年度啓発動画 (DVD No.53) 制作現場から 9月より販売)

新型コロナウイルスの感染拡大は、地球規模で私たちの生活意識に大きな変化をもたらしました。

先頃 UNODC がリリースした『World Drug Report 2020』の中にも、不安定な社会情勢と急激な生活の変化が薬物へのスリッリスクを高めるひとつの要因になっている可能性がある、とのレポートがありました。



今回のインタビューは瀬戸さんにお願ひしました

薬物乱用はなぜ無くならないのか、
このまま拡大が続くと、私たちの未来はどうなる？
今、この特別な年にこそ、
自分自身の問題として考えてみるきっかけに。

今年の啓発動画は健康と薬物、法律と薬物、社会規範（道徳）と薬物、といった基礎的な視点を踏まえつつ、もう一歩その先について考えてみるきっかけにしてもらうことを意識した企画で制作しました。主な対象者を（小学校で一度学んだ経験のある）中学生以上と想定しています。

普段の生活の中でなかなか実感しにくい薬物問題のリアルな実態を元麻薬取締官から聞くことで「今まで自分が持っていたイメージが実は違っていた、これまで見聞きしていた理解だけでは足りなかった」ことに気づいて、改めて自分や家族や社会にとって何が大切なことかを考えてみる。

大人への入り口年齢であり、情報吸収力の豊かなデジタルネイティブ世代の行動変容に繋げることを企画のテーマに設定しました。



マスク着用、距離を置いて原稿チェック



動画収録中、セットバックは書棚

今年、文科省は中学生のスマホや携帯の学校への持ち込みについて、原則禁止を11年ぶりに見直し、大阪府では生徒たちによるスマホの利点や危険性について話し合いの場が持たれるなど、情報ツールとの上手な付き合い方を考えていく方向へのシフトが進んでいます。

『ネットで見て実は少し興味を持ったが、その情報が偏ったものだったことに気がついた、生活に欠かせないツールであるスマホからの情報取得の仕方や自分の心構えについて考え直すことができた』など社会問題の一つとしての薬物視点を視聴後のゴールイメージとしました。

薬物の問題について、初めて学ぶ小学高学年生には『薬物乱用は、ダメ。ゼッタイ。』がこれまで通り最も重要な予防啓発となります。この領域の動画は既に多くご案内していますので、指導者の皆さまにおかれましては、対象者に応じて適切と思われる動画を選択活用いただき、このテーマについて子供たちとの熱いディスカッションがそれぞれのフェーズで展開されることを願っています。

※瀬戸晴海さん：(一社)日本薬物問題研究所 理事 元厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部部長
退官後 2020年1月「マトリ」(新潮新書)で日本の薬物犯罪と捜査の実態を克明に記し話題に。
ネットメディアにも多数出演、薬物問題の本質についての鋭い指摘と警鐘が注目されている。

2019 年度国連支援募金の贈呈式が行われました

2020 年 7 月 24 日、ウィーンの UNODC（国連薬物犯罪事務所）にて、国際機関日本政府代表部引原大使よりワーリー事務局長へ、2019 年度実施分の募金の中から約 14.5 万ドル（1,600 万円）の寄付金が贈呈されました。

本寄付金は開発途上国 NGO を通じて、青少年の薬物乱用防止教育や指導者養成プロジェクト等に活用されます。毎年、年度末に行われる贈呈式ですが、今般のコロナ禍の影響でスケジュールが大幅に遅れておりました、実施のためご尽力をいただきました厚生労働省、外務省並びに日本政府代表部に感謝申し上げます。

<引原大使の発言概要>



麻薬・覚せい剤乱用防止センターが 2019 年に行った国連支援募金キャンペーンで得られた寄付金をお渡しする機会を得られ、大変喜ばしく思っています。

これは 1993 年に開始され、2020 年で 27 年目となる「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の一環として若者の薬物乱用予防に関する活動を支援するために行われた国連支援募金活動において、青少年をはじめ日本の多くの団体の協力を得て集めた寄付金です。

皆様からの寄付金が、各国の NGO において効果的な薬物乱用防止活動に役立てられるよう、UNODC に適切な使用をお願いしています。

<ワーリー UNODC 事務局長の発言概要>

麻薬・覚せい剤乱用防止センターからの支援は、NGO と国連、そして世界中の若者がそれぞれ協力しながら作り上げられているとてもよいコラボレーションで、自分としても大いに関心を持っています。

日本の若者が他の国の若者を支援するというこの枠組は、考えられる最良の方法であり、27 年という長い期間続いているというとても象徴的なものです。

今後、より一層コミットメントが深化し、UNODC と麻薬・覚せい剤乱用防止センターの関係がより良く進展していくことを期待しています。



(写真提供 / 日本政府代表部)

『若年者を対象としたより効果的な薬物乱用予防啓発活動の実施等に関する研究』

(令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業))

前年度までの先行研究『危険ドラッグ等の濫用防止のより効果的な普及啓発に関する研究』を更に発展させ、特に大麻に関して残された諸課題に対応し、日本の若者によるその乱用を予防していくことを目的とする研究班の第1回会合が7月29日に開かれました。

会議では研究分担者がそれぞれの専門領域で今後3か年に実施する研究計画のプレゼンテーションが行われ、最後に井村前理事長から本研究代表を引き継いだ永沼理事より研究班全体の今後の方向性の確認が行われ散会しました。次回会議は10月に開催を予定。



出席者

前研究代表者	井村 伸正	前公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事長
研究代表者	永沼 章	公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事 東北大学名誉教授
研究分担者	河井 孝仁	東海大学文化社会学部広報メディア学科教授
	鈴木 順子	北里大学薬学部名誉教授
	關野 祐子	東京大学大学院薬学系研究科ヒト細胞創薬学寄付講座特任教授
	花尻 瑠理	国立医薬品・食品衛生研究所生薬部室長
	船田 正彦	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部室長
	森 友久	星薬科大学薬学部教授
厚生労働省	竹内 大輔	医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課 課長補佐
	千葉 祐一	同
	河上 千尋	同 主査
事務局	原田 進	公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター専務理事



【注目書籍のご紹介】



どうする麻薬問題「奇跡の国」と言われているが…

山本 章 [著] 薬事日報社

厚生省(現・厚生労働省)、環境庁(現・環境省)に30年間勤務した中でも、「麻薬」と名の付く部署に計4回・約7年半在籍し、「麻薬課長」まで務めた経歴を持つ著者が、これまでの豊富な経験をまとめ、薬物乱用防止対策や「奇跡の国」と呼ばれる日本の軌跡を辿る。

行政組織の変更や統合などで「麻薬課長」のポストが消滅してしまった今だからこそ、自身の行政での経験を後世に伝えるとともに、明日への願いも込めて書き綴った一冊。

ご寄付団体及び賛助会員

2020年2月13日から2020年8月14日までに、当センターにご寄付いただいた団体及びご入会いただいた賛助会員は次のとおりです。ご協力ありがとうございました。

〔ご寄付団体・個人〕

ツカモトミチコ様 一財)東京都警察懇話会様
アムズメディカル・コンサルティング様

〔法人賛助会員〕

株式会社豊島印刷様 学校法人関西大学様
丸石製薬株式会社様 UUUM株式会社様

〔個人賛助会員〕

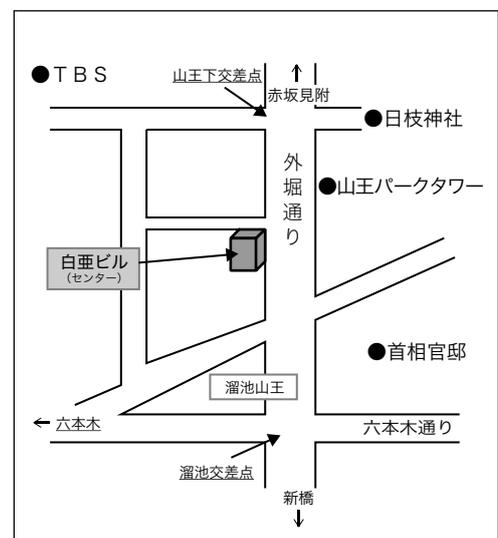
山地 義夫 様 (継続)	児玉 金之助様 (継続)	関根 寿樹 様 (継続)	岡田 譲治 様 (継続)
北川 けい子様 (継続)	小清水 征次様 (継続)	水谷 義広 様 (継続)	高瀬 幹夫 様 (継続)
野々 晴久 様 (継続)	田口 守 様 (継続)	山名 純一 様 (継続)	神垣 鎮 様 (継続)
中本 幾司 様 (継続)	山本 稔 様 (継続)	石原 俊也 様 (継続)	櫻井 秀男 様 (継続)
篠 順三 様 (継続)	宮脇 節 様 (継続)	原 恒道 様 (継続)	丸井 一弘 様 (継続)
古木 光義 様 (継続)	碓野 孝之 様 (継続)	高橋 茂 様 (継続)	中道 守太 様 (継続)
村松 滝夫 様 (継続)	池田 冬美 様 (継続)	山本 章 様 (継続)	荒木 貞雄 様 (継続)
小柴 正照 様 (継続)	今井 啓祐 様 (継続)	大屋 博 様 (継続)	館 親光 様 (継続)
中村 楯夫 様 (継続)	清水 勝利 様 (継続)	古瀬 智之 様 (継続)	齊藤 勲 様 (継続)
吉川 研司 様 (継続)	山田 順子 様 (継続)	中嶋 敏次 様 (継続)	森 和弘 様 (継続)
河野 利光 様 (継続)	石井 征二 様 (継続)	稲荷 恭三 様 (継続)	山崎 功 様 (継続)
岩野 秀夫 様 (継続)	寺田 義和 様 (継続)	永浜 静江 様 (継続)	澤田 宏 様 (継続)
村田 昭夫 様 (継続)	松石 高之 様 (継続)	山田 松三郎様 (継続)	
中村 昌策 様 (継続)	矢口 博行 様 (継続)	村島 吉豊 様 (継続)	



公益財団法人

麻薬・覚せい剤乱用防止センター

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-4-1 (白亜ビル 9F)
TEL.03 (5544) 8436~7 FAX.03 (5544) 8473
ホームページアドレス <http://www.dapc.or.jp>



CREATIVE crew

有限会社クリエイティブクルー

映像に関するワンストップサービスを提供します

撮影 | 企業用VP/プロモーション映像/セミナー/
インタビュー取材/施工記録等適切な手法でお応え致します。

中継・配信 | 国際会議/コンサート/各種コンベンション等
大規模会場から研修会、分科会など会場でのライブ中継やストリーミングライブ配信、
リモート会議までフレキシブルに対応いたします。

映像制作 | 目的に合った作品を企画から立案し効率的な表現手法をご提案いたします。
演出/撮影/編集/ナレーションに至るまで一貫して作業を行いますので、
作品完成まで迅速な対応が可能です。

パワーポイント制作 | デザインスキルを活かし内容を引き立てる事により、
魅力的な資料を作成いたします。
さらに、BGMやナレーションを効果的に加え、インパクトあるプロモーションムービーも制作致します。

トランシーバーレンタル | 各種イベント/展示会/株主総会等

有限会社クリエイティブクルー

東京都中央区築地2-4-3 東銀座富岡ビル7F

TEL 03-3544-7661

HP <http://creativecrew.co.jp/>

介護付有料老人ホームと在宅福祉のご案内です。

八王子市暁町



●シルバーレジッド八王子

直下型地震にも対応
安心の免震構造

●シルバーレジッド日野東館

多摩モノレール
甲州街道駅徒歩1分!!

●シルバーレジッド日野



八王子市宮下町

●シルバーレジッド八王子西



八王子に隣接
救急指定右田病院

日野・日野東館に隣接
康明会
ホームケアクリニック

在宅福祉部

- 居宅介護支援事業所
シルバーレジッドいちょうの里
- 訪問介護事業所
シルバーレジッドいちょうの杜
- セカンドライフ応援倶楽部
シルバーレジッドいちょうの実

「ゆったりと安心の毎日」をお届けしています。
SV シルバーレジッド

パンフレットのご請求は

0120-19-0432

ホームページ **シルバーレジッド** 検索

株式会社シルバーレジッド 代表取締役会長 石井 征二(八王子陵東LC)

財団広報誌「NEWS LETTER」2020.9 第 103 号をご覧ください、ありがとうございました。

財団では、薬物問題に取り組むすべての方々のお役にたてるよう本広報誌を始め、ホームページでも日々最新の情報発信に努めております。

予防啓発のための各種教材のご提供や関連書籍の紹介、オリジナル企画や特集、専門機関からのデータや統計資料、行政からのお知らせ、海外情勢などを網羅し、整理・分類の上ご紹介しています。この機会にぜひご覧ください、ご意見等お寄せください。

ダメ。ゼッタイ。

検索 

<http://dapc.or.jp>

